

## 令和6年度 第2回杉並区地域自立支援協議会 次第

### 1 開会 区挨拶

### 2 会長挨拶

### 3 議題

(1)第1回東京都自立支援協議会交流会の報告

(2)各部会 第9期(令和6年度)の取組発表と委員紹介

(3)自立支援協議会シンポジウム実行委員会 進捗報告

(4)地域生活支援拠点について

- ・ 羅針盤の説明
- ・ 理想の姿 ～5つの機能それぞれの目指す姿～
- ・ 部会の立上げについて

——— 休憩 10分 ———

### 4 グループ討議と発表

・杉並区の障害者相談支援体制(構造)の説明

・「杉並区の障害者相談支援体制の現状

～2層・3層がこうだったらいいな～」

### 5 その他(連絡事項等)

・次回の日程 (日時: 場所: )

・その他

### <配布資料>

資料1-1 第9期(令和6年度)各部会 取組予定

資料1-2 各部会 委員名簿(①～⑤)

資料2 自立支援協議会シンポジウムについて

資料3-1 地域生活支援拠点 羅針盤

資料3-2 地域生活支援拠点部会立上げについて

資料4-1 杉並区の相談支援体制とすまいるの主な役割

資料4-2 地域生活支援拠点における理想の姿

資料4-3 杉並区の障害者相談支援体制・事業内容

## 第9期(令和6年度) 各部会の取組予定

部会名	目的	今期の取組み予定
計画部会	○「障害者施策推進計画」の進捗報告を行う。	・11月 第1回計画部会
相談支援部会	○相談支援を通じて、地域の課題を抽出し、課題を検討したり、課題解決に向けた取組みを行う。 ○課題を解決するための地域のネットワーク構築を進める。 ○相談支援従事者の技量アップにつなげる。	・令和5年度に完成した「意思決定支援について大切にしたいこと」を地域で活用できる方法を検討し、ブラッシュアップしていく。 ・当事者の意思決定を中心とした多職種連携について、より良い連携に繋げる方策について検討していく。
地域移行促進部会	○「地域移行促進」の課題を以下の4項目に分類し、取組みを進める。  (1)住む場の条件を広げる (2)医療との連携を広げる (3)一人暮らしを支援する体制を広げる (4)区民の理解を得る活動	・「居住」と「支援体制」をテーマに取り組んでいく ・地域移行についてのパンフレット作成:QRコード等で情報が取得でき、支援者と当事者が一緒に活用できるようなパンフレットを作成する。 ・居住支援協議会との連携:居住支援協議会事務局である住宅課と情報交換し、居住と地域移行の連携について検討をすすめていく。
高齢障害連携部会	○高齢期に向けた柔軟な支援体制をつくる L(高齢者サービス&障害サービス)支援者間の情報共有を目指す。 ○年齢を重ねても安心して暮らし続けられる地域づくり L本人・家族に対して、高齢期への移行について考えるきっかけづくり(介護保険・共生型サービスを周知など)。	9月:障害者施設(保護者会)等で、高齢期への移行、共生型サービス等の説明をする。 10月:当事者・家族・障害サービス支援者向け共生型サービス事業所見学会を実施。 11月:共生型含む高齢者サービス支援者向けに障害者施設の見学会を実施する。 ⇒地域的に近い相互の事業所間で、個別相談に生かせるつながりをつくっていく。
医療的ケア児支援検討部会	○地域において、医療的ケア児等の支援に携わる保健、医療、福祉、教育、子育て等の各分野の関係機関及び当事者団体等により構成し、地域の現状把握、分析、連絡調整、支援内容等、地域全体の医療的ケア児等とその家族が直面する課題及びその対応策の検討を行う。	・令和6年6月24日 テーマ「18歳以降の生活と医療について」 ・令和7年1月頃 テーマ 未定 なお、次年度「こども部会」に変更予定。

## 令和6年度 地域自立支援協議会 計画部会委員名簿

No.	部会員氏名	団体名等	区分	備考
1	高山 由美子	ルーテル学院大学	学識経験者	地域自立支援協議会からの選出
2	鈴木 督	都立永福学園肢体不自由教育(高等部)	教育関係者	
3	氷見 真敏	杉並区障害者雇用支援事業団	就労支援関係者	
4	小林 哲	杉並育成園すだちの里すぎなみ	サービス事業所	
5	中元 直樹	精神障害者地域生活支援すぎなみ会議(グループホームネスト)	サービス事業所	
6	野瀬 千亜紀	障害者地域相談支援センターすまいる荻窪	相談支援事業所	
7	修理 美加沙	相談支援事業所 やどり木	相談支援事業所	
8	奴田原 直裕	こもればいカウンセリングルーム	障害当事者	
9	先野 真紀子	杉並区民生委員児童委員協議会	社会福祉団体	障害者権利擁護・共生社会推進連絡会からの選出
10	高橋 博	杉並区身体障害者協会	障害者団体	
11	佐藤 一人	杉並区視覚障害者協会		
12	鈴木 道夫	杉並区聴覚障害者協会		
13	佐藤 仁実	杉並区肢体不自由児者父母の会		
14	永田 直子	杉並区手をつなぐ育成会		
15	藤谷 恵美子	杉並家族会		

## 令和6年度杉並区地域自立支援協議会 相談支援部会委員名簿

	氏名	所属	備考
1	厚地朋子★	障害者地域相談支援センターすまいる高井戸	委託相談支援事業所
2	池田 恵子	障害者生活支援課地域生活支援係	行政
3	大谷 紀子	ケアプランセンター杉並	ケアマネ協議会
4	上島 紀久	特定相談支援事業所エンカレッジ	特定相談支援事業所
5	亀井 奈南子	上井草保健センター	行政
6	河野 知道	二葉庵	特定相談支援事業所
7	木津 石生	フラット	障害当事者
8	国枝 知香★	障害者地域相談支援センターすまいる荻窪	委託相談支援事業所
9	小林 重吉	武蔵野赤十字病院	障害当事者
10	佐藤 佳織	障害者地域相談支援センターすまいる荻窪ピア相談員	障害当事者
11	佐藤 一人	障害者地域相談支援センターすまいる高井戸ピア相談員	障害当事者
12	佐藤 陽子★○	いたる相談室	特定相談支援事業所
13	柴田 佳穂	杉並区立こども発達センター	行政
14	修理 美加沙★◎	やどり木	特定相談支援事業所
15	中島 由佳子	障害者施策課発達障害児相談担当	行政
16	中田 修三	相談支援事業所 庵	特定相談支援事業所
17	早野 節子★○	相談支援事業所かすみ草	特定相談支援事業所
18	広瀬 優子	杉並区就労支援センター若者就労支援コーナーすぎJOB	就労関係
19	須永 夏未	障害者施策課障害福祉サービス係	行政
20	渡辺 叔佳	杉並区立済美養護学校	教育機関
21	平 由美	くらしのサポートステーション	社会福祉協議会
事務局	前田 玲	障害者地域相談支援センターすまいる高円寺	委託相談支援事業所
	村本 美名	杉並区障害者施策課基幹相談支援係	
	本田 楠津子	杉並区障害者施策課基幹相談支援係	
	松岡 沙紀	杉並区障害者施策課基幹相談支援係	

★=幹事 ◎=部会長 ○=副部会長

## 令和6年度 杉並区地域自立支援協議会 地域移行促進部会委員名簿

	氏名	所属	備考
1	阿部 彩乃	慈雲堂病院 医療相談室	医療機関
2	阿部 純一(すぎ相連)	スギコーマネジメントセンター	一般相談支援事業所
3	稲葉 勝	杉並福祉事務所	行政
4	大崎 茜	障害者施策課障害福祉サービス係	行政
5	小倉 邦昭(すぎ相連)	杉並障害者地域自立生活支援センターすだち	一般相談支援事業所
6	小貫 美佳	障害者地域相談支援センターすまいる荻窪 ピア相談員	障害当事者
7	○ 小林 真理子	リリーフ訪問看護ステーション	訪問看護事業所
8	齋藤 タ子	在宅医療・生活支援センター	行政
9	佐藤 葉月	高井戸保健センター	行政
10	◎ 北島 沙希	あおばケアセンター	一般相談支援事業所
11	西尾 彰子	東京都中部総合精神保健福祉センター	行政
12	古川 稔章	グループホーム メゾンユトリロ	サービス事業所
13	星 恭世	障害者地域相談支援センターすまいる高井戸	委託相談支援事業所
14	前沢 高志	井之頭病院 相談室	医療機関
15	増淵 晃史	障害者地域相談支援センターすまいる高円寺	委託相談支援事業所
16	吉岡 淳志	ゆい企画	サービス事業所
事務局	村本 美名	障害者施策課基幹相談支援係	行政
	本田 楠津子	障害者施策課基幹相談支援係	行政
	松岡 沙紀	障害者施策課基幹相談支援係	行政
	島崎 遥	杉並保健所保健予防課	行政
	坪井 拓磨	障害者地域相談支援センターすまいる荻窪	委託相談支援事業所

◎=部会長 ○=副部会長

第3期(R6)杉並区地域自立支援協議会 高齢・障害連携部会委員名簿

		氏名	所属	備考
1		田村 昇	wacca(わっか)	障害当事者
2		佐野 誠	koen the TAO(コウエン・ジ・タオ)	障害当事者
3	◎	高橋 和哉	相談支援事業所ういる	相談支援事業所
4	○	細貝 長武	キラキラステーション	相談支援事業所
5		田口 ゆかり	つむぐケア永福	ケアマネ協議会
6		八木 理英香	S. Uストリート	サービス事業所(障害・B型)
7		渡邊 貴宏	済美職業実習所	サービス事業所(障害・生活介護)
8		菱木 幸治	サンフレンズ	サービス事業所(高齢)
9		牧野 利博	メディカル・ケア・サービス山中	サービス事業所(高齢)
10	○	小林 敬	ケア24阿佐谷	地域包括支援センター
11	★	高橋 弘美	障害者施策課障害福祉サービス係	行政
12		佐藤 葉月	高井戸保健センター	行政
13	★	須藤 真由美	済美福祉相談室	相談支援事業所
14	★	荒井 悠里	めぐみ会 杉並堀ノ内クリニック	ケアマネ協議会
◎部会長 ○副部会長 ★新規委員				
事務局		厚地 朋子	障害者地域相談支援センターすまいる高井戸	
	★	木村 薫	障害者地域相談支援センターすまいる高井戸	
		小櫻 由美子	障害者生活支援課就労支援担当	行政
		白川 久美子	高齢者在宅支援課地域包括ケア推進係	行政
		中村 はな子	杉並区基幹相談支援センター	行政
	★	鶴岡 耕平	杉並区基幹相談支援センター	行政
★新規事務局				

	氏名	所属	備考
1	継 仁	杉並区医師会	小児科医
2	宮島 祐	東京家政大学副学長、名誉教授 かせい森のクリニック院長(発達神経外来)	小児科医
3	勝盛 宏	河北総合病院 副院長、小児科部長	小児科医
4	奥村 尚威	杉並区医師会 園医会会長	小児科医
5	高野 典子	訪問看護ステーションHUG 管理者	訪問看護師
6	望月 太敦	杉並区立重症心身障害児通所施設わかば管理者 シャローム 上井草さくら	児童発達支援事業所 生活介護施設(通所)
7	中田 尚代	放課後等ディサービス 八成れいんぼう管理者	放課後等ディサービス事業所
8	早野 節子	NPO法人 かすみ草 理事長	相談支援事業所 居宅介護事業所
9	宮崎 智子	久我山東保育園園長	保育園
10	勝木 泉	障害児保育園ヘレン荻窪 園長	児童発達支援事業所
11	伴 比佐志	杉並区立済美養護学校 校長	教育
12	松本 忍	東京都立永福学園 副校長	教育
13	荻川 光伸	井草児童館館長	学童クラブ
14	江上 由美	東京都立永福学園 肢体不自由教育部門PTA (杉並地域部) 副会長	当事者保護者
15	荻野 志保	NPO法人みかんぐみ副代表理事	当事者保護者
16	村 一浩	NPO法人みかんぐみ代表理事	元こども発達センター所長
17	荒井 重子	杉並区重症心身障害児(者)を守る会 副会長	当事者保護者
事務局	矢花 伸二	障害者施策課長	
	藤代 陽子	荻窪保健センター 保健指導担当係長	
	関口 良太	障害者生活支援課 管理係長	
	永沢 文子	障害者施策課 障害者保健担当係長	
	鈴木 保弘	障害者施策課 こども発達センター理学療法担当係長	
	原 理恵子	障害者施策課 療育支援担当係長	
	田邊 信広	障害者施策課 障害福祉サービス係長	
	白石 絵美	障害者施策課 障害福祉サービス係主査	
	小川 一枝	障害者施策課 医療的ケア児等コーディネーター	
	山村 美保子	障害者施策課 児童発達相談係	
	菊地 絢香	障害者施策課 管理係	

下線ありは今年度新委員

## 自立支援協議会シンポジウムについて

日時 令和6年12月1日(日)13:00~15:00

場所 セシオン杉並 3階 第8・9・10集会室

※ 今年度は障害者週間事業のふれあいフェスタ内で開催。

名称 自立支援協議会トークライブ ～それならわたしもできるかも'24～

内容 寸劇・当事者インタビュー・ミニパネルディスカッション

- ・「いこる」さん…日常場面の寸劇。
- ・上田委員…すまいる高円寺ぶどうの会にて当事者の声を聞いてお話しする。
- ・身障手帳所持男子中学生…内容検討中。
- ・佐藤さん、猪俣さん…視覚障害・聴覚障害の方の日常を掛け合いで話す。
- ・すまいる荻窪ピアの皆様…ミニパネルディスカッション。
- ・会場内にて白杖等の実物展示や、パネル展示を予定。

広報について

- ・広報すぎなみ掲載について…調整中。
- ・チラシについて…デザインを作業所に依頼済み。
- ・公式ホームページ等の掲載…調整中。

実行委員および事務局

①	すまいる荻窪	青木さん 木村さん
②	すまいる高円寺	藤巻委員(地域自立支援協議会委員)、前田さん 上田委員(地域自立支援協議会委員)
③	すまいる高井戸	若山さん
④	障害者団体連合会	河津委員(地域自立支援協議会委員)
⑤	あおいサポートステーション	阿多さん(特定相談支援事業所)
⑥	福は家相談室	小倉さん(特定相談支援事業所)

(事務局)直井 石場 ジングナー 村本 鶴岡

今後の予定

10月4日(金)14:00~16:00 ウェルファーム杉並4階

11月1日(金)14:00~16:00 ウェルファーム杉並4階

12月1日(日)13:00~15:00 セシオン杉並3階

第8・9・10会議室(シンポジウム当日)



# 地域生活支援拠点の実効性を高め、より有効的に機能させるために

## I 地域生活支援拠点等を取り巻くこれまでの動き

### (1) 国(都)

#### ◆令和4年12月16日 障害者総合支援法の改正(令和6年4月1日施行)

「地域生活支援拠点等」が法律に位置づけられ、市区町村での整備が努力義務となる。

#### ◆令和6年2月6日 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定

「地域生活支援拠点等機能強化加算」が新設され、情報連携等を担うコーディネーター(=拠点コーディネーター)の配置が評価対象となる。

### (2) 杉並区

#### ◆地域生活支援拠点等に係る取組状況

開始時期	主な取り組み
令和3年4月～	基幹相談支援センターの設置、緊急時対応コーディネーターの配置(基幹相談支援センター、障害者地域相談支援センター3か所)
令和3年9月～	緊急時対応計画作成
令和4年1月～	緊急ショート事業開始

#### ◆第7期杉並区障害福祉計画(令和6～8年度)における成果目標の考え方

地域生活支援拠点等の機能充実のため、支援の実績等を踏まえ年1回以上運用状況の検証・検討を行う。

## II 杉並区における地域生活支援拠点等の取組の現状

機能	現状の取組(実現できていること)	課題
1 相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹相談支援センターを区直営で設置し、障害者の相談窓口の見直しを実施</li> <li>3層構造の相談支援体制を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1層(特定)と2層(すまいる)の結びつきが弱い</li> <li>要支援者*の把握ができていない</li> </ul>
2 体験の機会・場	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害者グループホーム活用型ショートステイ事業の実施</li> <li>「体験の機会・場」として拠点登録している事業所がある</li> <li>障害福祉サービスの範囲でも体験の機会・場を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所施設等からの地域移行が進んでいない</li> <li>精神以外の一人暮らし体験宿泊が少ない(=重度訪問介護の活用ができていない)</li> <li>介護者不在時の住まいの選択肢が少ない</li> </ul>
3 緊急時の受け入れ・対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の対応を担うコーディネーターの設置(基幹相談支援センター、すまいる3所)</li> <li>24時間安心サポート事業、緊急時支援者派遣事業等の実施</li> <li>緊急時対応計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区として「緊急時」の定義付けができていない</li> <li>コーディネーターを配置しているが、実働的でない</li> <li>本質的に緊急対応できる宿泊施設がない</li> <li>緊急時の事業を実施しているが、本来ニーズとはかけ離れている</li> </ul>
4 専門的人材の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内障害者施設見学ツアーの実施など事業者や障害者生活支援課との連携</li> <li>ハローワークと連携した就職相談・面接会の実施(障害者生活支援課)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重度の障害者に対応できる人材の不足</li> <li>相談支援専門員の不足</li> <li>専門的人材を雇用しても職場定着しない</li> </ul>
5 地域の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹相談支援センター設置</li> <li>自立支援協議会の開催(本年度4回)</li> <li>特定相談支援事業所連絡会の開催(年3回)</li> <li>すぎなみ相談支援連絡会との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点コーディネーターの定義や設置目的が整理されていない(緊急時コーディネーターとの違いが不明瞭)</li> <li>上記4つの機能に関する課題整理ができていないため、既存組織を上手く活用できていない</li> </ul>

※要支援者…緊急対応など支援が必要となる障害者等(強度行動障害者や医療的ケアが必要な重症心身障害者、潜在的な要支援者等)

## III 課題

### 1 相談

課題	中(長)期の目標	令和6年度末の姿
1層・2層の連携強化	潜在的支援ニーズを各相談支援機関で共有	すまいる主催で特定相談支援事業所との事例検討会を開催
要支援者の把握	登録なしでも対応可能な緊急体制づくり [3と同様目標]	要支援者のリスト作成 要支援者のニーズ把握

### 2 体験の機会・場

課題	中(長)期の目標	令和6年度末の姿
入所施設等からの地域移行の促進	地域生活移行システムの構築	モデルケースを用いたシステム構築の検討
居住支援の選択肢を増やす	利用者の希望に沿う複数の体験の機会・場を確保	知的地域移行検討会での検討

### 3 緊急時の受け入れ・対応

課題	中(長)期の目標	令和6年度末の姿
「緊急時」の定義付け	登録なしでも対応可能な緊急体制づくり	要支援者リストに基づく「緊急時」の定義検討
実質的な緊急時宿泊施設等の整備		要支援者のニーズ把握 緊急宿泊対応事業者との懇談会

### 4 専門的人材の確保・育成

課題	中(長)期の目標	令和6年度末の姿
人材不足の現状把握(どの程度ニーズがあり、どの程度不足しているのか等)	適宜適切な人材を確保するためのスキームづくり(定期的な現状把握の実施)	現状把握の手法を分析 障害者生活支援課との情報共有・連携

### 5 地域の体制づくり

課題	中(長)期の目標	令和6年度末の姿
拠点コーディネーターの定義・目的の整理	拠点コーディネーターを軸にしたネットワーク構築	区が拠点コーディネーターに求める役割の整理

### ～長期的な構想～

5つ機能を更に強化していくために「多機能拠点整備型(複合施設)」の併用も考えていきたい  
⇒ 他自治体の事例等を令和6年度中に収集し、次年度以降に視察等も検討 Ex.)練馬区、豊島区

## IV 令和6年度末の姿

各機能において、記載した令和6年度末の姿となるように

拠点連絡部会(仮称)を立ち上げ、下部組織として以下2つを発足させる。

①緊急時対応WG……機能1・3について検討

②強度行動障害・知的地域移行WG…機能2について検討

※機能4については障害者生活支援課で検討

機能5については他の機能の進捗を踏まえて基幹相談支援センターで検討

～イメージ図～



## 令和6年度(第9期)中における地域生活支援拠点部会の立ち上げについて

杉並区においては、令和3年度に地域生活支援拠点の面的整備を行い、地域自立支援協議会本会において令和4年度から継続してその内容の協議・検討を重ねてきました。

今年度に入り、より実効性のある地域生活支援拠点とするため、拠点の現状と評価方法について検討しているところです。

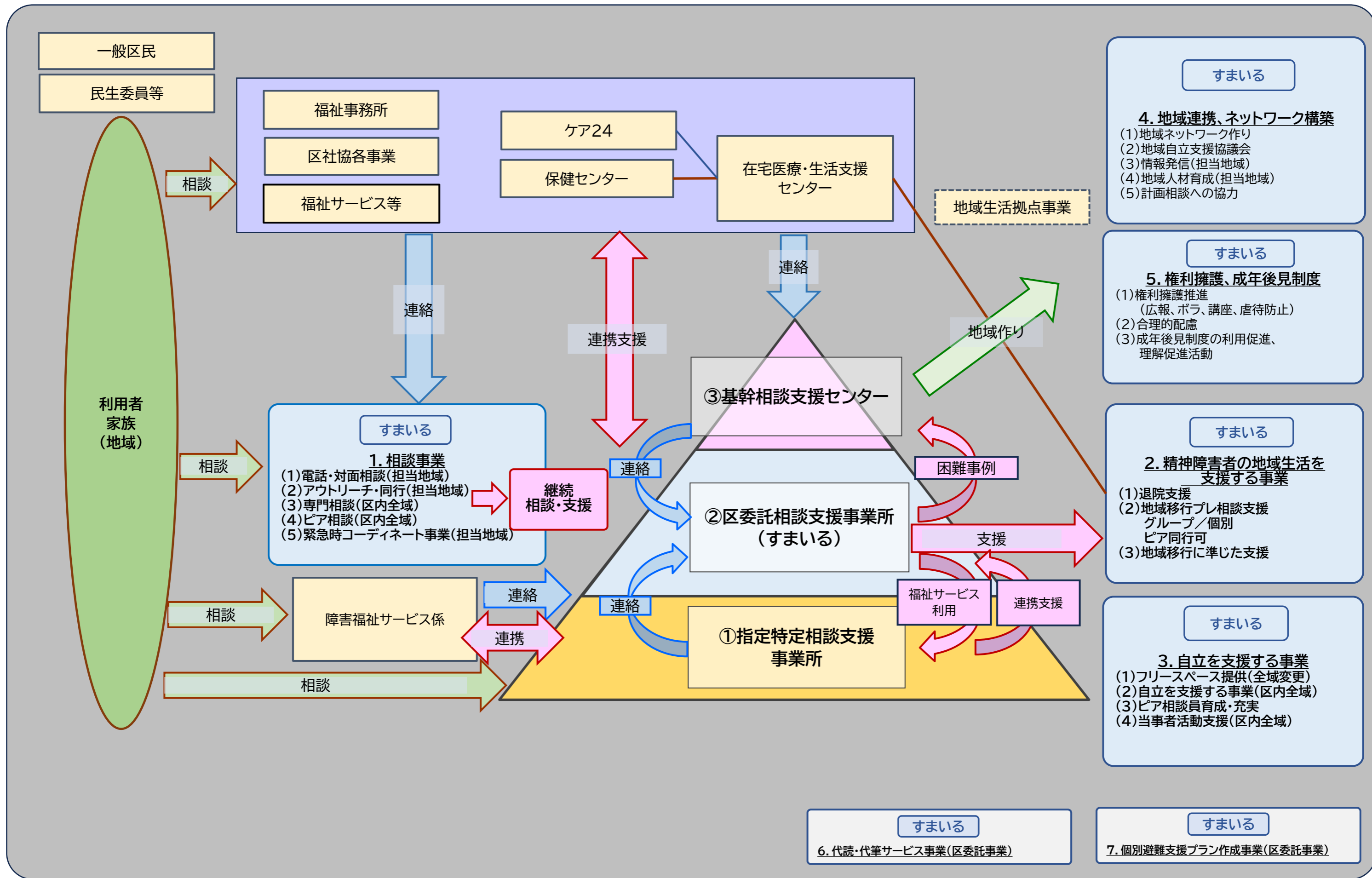
今後は、広い分野の方が集まる本会での協議だけではなく、拠点に密接にかかわる関係機関での実践的な協議が必要と考え、年度中という異例ではありますが、部会の設置を以下の通り提案いたします。

## 記

1. 名称 地域生活支援拠点部会
2. 立ち上げ時期 令和6年度第2回協議会本会后(10月に第1回部会開催を予定)
3. メンバー 別紙名簿案のとおり
4. 今後の予定 別紙予定表のとおり
5. その他 部会の下部組織として「強度行動障害と地域移行WG」「緊急時対応WG」を設置し、各課題について検討する。

以上

### 杉並区の相談支援体制とすまいるの主な役割(イメージ図)



## 地域生活支援拠点における理想の姿 ～5つの機能それぞれの目指す姿～

### 1. 相談

- ・研修・講座などを含めた顔の見えるネットワークがある。
  - ・潜在的ニーズの共有ができています。
  - ・相談支援部会の機能を活用している。
- (情報発信や内容をベースに検討会の開催等)

### 2. 体験の機会・場

- ・ハード、ソフト両面の構築・整備ができています。
- ・入所施設から地域に戻り GH 等に入居することがより魅力的になっている。

### 3. 緊急時の受け入れ・対応

- ・緊急時コーディネーターの役割が明確になっている。
- ・緊急時コーディネーターが定期的に集まり、情報収集や、緊急時のシミュレーション等を行い備えることができています。
- ・緊急時は緊急時コーディネーターと相談支援専門員が連携して対応している。
- ・緊急時の居場所があり、それに対応する人材の確保ができています。
- ・医療的ケアの手厚いショートや精神医療対応型ショートの確保ができています。
- ・初動時の受け入れ先として通所施設と連携が取れている。
- ・既存の支援者が対応できる体制が整っており、同時に、対応したことに対する報酬体制も整っている。
- ・緊急時支援者派遣事業が実施されている。

### 4. 専門的人材の確保・育成

- ・支援員に求める姿を想定して、それに基づいた研修を行っている。
- ・従来の研修に加えて、専門的スキルのある事業所へ行くなど深く学べる研修を行っている。
- ・「やりがい」の醸成と「対価」の保証ができています。

### 5. 地域の体制作り

- ・拠点コーディネーターの役割が明確になっている。あるいは、緊急時コーディネーターと統合されている。
- ・対象事業所の情報の定義や設置目的が整理されている。
- ・既存組織をうまく活用することができている。
- ・区として障害者の生活の場としての「地域」をどういうものにしていきたいか具体的な課題や目標があり、浸透している。
- ・福祉関係者とともに一般区民を巻き込んだビジョンを構築できている。

## 杉並区の障害者相談支援体制・事業内容

1 障害者地域相談センター すまいる		
①相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話・対面での相談</li> <li>● アウトリーチ、同行支援</li> <li>● 専門相談</li> <li>● ピア(当事者)による相談</li> <li>● 緊急時コーディネート</li> </ul>	
②自立を支援する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集える場の提供</li> <li>● 自立を支援する事業</li> <li>● ピア相談員の育成</li> <li>● 当事者活動支援</li> </ul>	
③精神障害者の地域生活を支援する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 退院支援</li> <li>● 地域移行プレ相談支援</li> <li>● 地域移行に準じた支援</li> </ul>	
④地域連携・ネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自立支援協議会参画</li> <li>● 地域への情報発信</li> <li>● 人材育成</li> <li>● 計画相談への協力</li> </ul>	
⑤権利擁護、成年後見制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報、ボランティア、講座、虐待防止</li> <li>● 合理的配慮</li> <li>● 成年後見制度の利用・理解促進</li> </ul>	
⑥代読・代筆サービス事業		
⑦個別避難支援プラン作成事業		

2 基幹相談支援センター		
①総合的・専門的な相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 困難ケースの対応（8050、虐待疑い、複合的な課題を抱えた世帯等）</li> <li>● 精神科医、弁護士等による専門相談（在宅医療・生活支援センター支援会議活用）</li> </ul>	
②地域の相談支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自立支援協議会運営</li> <li>● 重層的支援会議</li> <li>● 他分野（高齢、保健、子ども等）との研修</li> </ul>	
③特定相談支援事業所、すまいるへの専門的指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種連絡会</li> <li>● 研修企画・実施</li> <li>● モニタリング検証</li> <li>● 訪問、面談</li> </ul>	
④虐待防止、対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調査対応</li> <li>● コアメンバー会議</li> <li>● 改善支援</li> </ul>	
⑤地域移行・定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 精神科病院からの退院支援</li> <li>● 活用型ショートステイ委託</li> <li>● 入所施設からの地域移行</li> </ul>	
⑥人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 強度行動障害スーパーバイズ研修</li> <li>● 生活支援課と協働しての研修企画</li> </ul>	
⑦地域課題の抽出、解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モニタリング検証</li> <li>● 各種連絡会等での課題の吸い上げ</li> <li>● 協議会での検討</li> </ul>	
⑧緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緊急時対応計画作成促進</li> <li>● 要支援者リスト作成検討</li> </ul>	